

# はじめに

## 本書のねらい

この本のねらいは、英語のリスニングの完全マスターです。

最終的には、日本語と同じように力を抜いていてもほぼ100%聞き取れ、何時間でも疲れを感じることなく聞き続けられる「英語耳」をつくることを目指します。

英語の技能は、**1.読む**、**2.聞く**、**3.話す**、**4.書く**、そして**5.語彙**に分類できます。じつは、なかでもいちばん難しいのは、2番目の「聞く」です。留学経験者やTOEICのリスニングで満点を取れるような上級者でも、アメリカの映画やTVドラマを100%聞き取れる人はそんなに多くありません。

一方、英語を数年勉強した程度のフランス人に聞くと、「アメリカ映画を見ると、知らない単語はあるけれど、音自体は100%聞き取れる」と言います。多くの日本人は中学高校で6年、大学も入れれば8年も勉強しているのに、「知っている単語ばかりの英語でも聞き取れない」というのが実情です。

この差はどこからくるのでしょうか？

**大きな原因は、日本語で使う音と英語で使う音があまりにもかけ離れていること**です。英語には、ぜんぶで43個の音があります（数え方によって若干変わります）。日本語とほぼ同じとっていい音は、そのうちの5から6個くらいです。つまり約9割の音は、日本人にはなじみがない音ということになります。日本人にとって、英語の聞き取りが難しいのはこのためです。

フランス語の音は英語の音と重なるものが多いので、さほど苦勞せずに理解できるわけです（もちろん他にも、文法や語彙がよく似ているというアドバンテージもあります）。